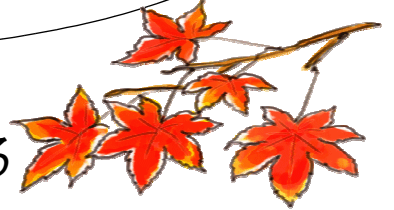


ことば

佐濃小学校通級指導教室
(ことばの教室)
TEL. 84-0149

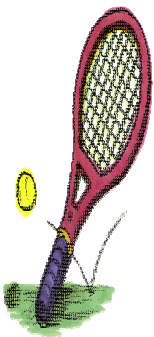
このがんばりをつぎにつなげる



朝夕の冷え込みも強くなり、色づき始めた木の葉も目にするようになりました。

この二学期は、運動会、マラソン大会、発表会等大きな行事が多く、日頃積み上げてきた力を試す機会も多いです。

子どもたちは、他の人と比べて自分の記録が悪いと自信をなくしたり、苦手意識を強めたりしがちです。支援者である大人は、人と比べた力ではなく、去年の自分の力と比べて、どうだろうかとみてやることも大事にしてほしいと思います。



誰でも苦手なことはあります。子どもたちは、結果しか見ていないことが多いので、自分の苦手はどう向き合ったかということにはあまり気づきません。

そういうときに大人の支援が今後の力の基を作っていきます。

「～だったけど、ここが良かったよ。」ということをしちんと言葉で返してやりたいものです。

人は誰でも、何となくは感じていても、漠然としていることが多いものです。特に、発達途上である子どもには、言語化してやることによって、自分というものはっきりと意識していくことができるのです。

自分の成長を確認できると、自信になり次への力につながります。プラス面を見つけて、肯定的な言葉をかけていきたいものです。

どんな状況にあっても、自分の良さをしっかりと見ていてくれる。自分を応援していてくれる。そんな大人の存在が一番の安心感になっていきます。

